

法人の歩み

2005年 日本離床研究会が発足する
2010年 一般社団法人となる
2010年 会員・認定制度が開始となる
2011年 全国学術集会が開始となる
2012年 離床インストラクター・
アドバイザー資格制度が発足する
2017年 市民向け教育講座が開始となる
2019年 日本離床学会としての活動が
開始となる



会員者数 4,546名(2018年現在)
延べ教育講演数 1,082講座(2005-2018年)
延べ受講者数 129,978人(2005-2018年)

みんなが創る
未来の学会



日本離床学会 事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 ブラーレルビル2F
HP <https://www.rishou.org/> Eメール jsea@rishou.org
TEL 03-3556-5585(月~金 10時~17時) FAX 03-6272-9683



日本離床学会
Japanese Society for Early Mobilization

学会長 ごあいさつ



臥床による弊害が認知され、多くの施設で離床を進める動きが加速しています。日本離床学会は、安全かつ効果的な離床とは何かを真摯に考え、皆様に必要な情報を提供するとともに、この領域の学術・教育の発展に寄与して参ります。学会での討議・方針決定は、これまでの既存の学会にはない、オープンで参加型の形態を目指し、みんなで「寝つきりゼロ」を目指します。

日本離床学会 曇川元

年次学会

毎年6月に学術大会を開催し、離床の分野における国内エビデンスの構築や最新知識・技術の共有を目的に、演題発表や教育講演を行っています。



離床教育ガイドライン

離床教育ガイドラインは、当会における離床の教育を標準化し、教育の目標や達成度を客観的に捉えることを可能にします。内容は翻訳され、海外においても標準化することを目指します。

大項目	中項目	小項目
□チーム医療（コラボレーション）マニュアルの整備	□チーム医療マニュアルが整備されている	<ul style="list-style-type: none"> □離床チーム（E-MAT）が整備されている □多職種カンファレンスのマニュアルが整備されている □定期的・勉強会が整備されている □連携評価ツールが整備されている
□離床基準マニュアルの整備	□離床の開始基準が整備されている	<ul style="list-style-type: none"> □各部署で離床の開始基準が整備されている □ステップアッププログラムが整備されている □多職種会議の開始基準が整備されている □離床の中止基準が整備されている



離床教育講座

国内における離床の知識・技術向上を目的として、全国各地で教育講座を開催しています。すべての疾患に係わる呼吸器・循環器のほか、脳神経・整形外科・がんなど、各専門領域の基礎知識、さらには離床をすすめるために必要な技術など、安全に早期離床を実現するために必要な知識と技術を教育しています。内容は急性期、回復期、生活期とあらゆる病期に対応したもので、年間に約 12,000 人の方々が参加しています。

臨床指導

臨床現場に赴き、離床を行うために必要な情報収集や離床技術を密着指導しています。また、施設内の「寝たきり文化」を変えるため、施設の教育方針やチーム立ち上げのお手伝いを行っています。



主な学会活動

教育講座 (Educational Lecture)

定資格制度

論コース 講座

実技コース 7 講座



医療・介護に必携の実践ガイドブック

- ・実践！早期離床完全マニュアル
 - ・フィジカルアセスメント完全攻略 Book
 - ・脳卒中急性期における看護ケアとリハビリテーション
 - ・早期離床ポケットマニュアル（各種）安全な離床を実現するために必要な知識と技術を詳説しております。
 - ・日本離床学会 機関誌「早期離床（EMJ: Early Mobilization Journal）」

離床に関する最新エビデンスから、論文・解説・世界の最新事情まで、幅広い内容を掲載しています。また、原著論文などの投稿論文なども充実しております。

離床に関する認定試験・資格制度

2012年からは、離床アドバイザー資格制度を発足し、現在までに国内だけで534名の有資格者がいます。そのうち、最難関の筆記・実技試験を通過した離床インストラクターは、臨床現場でのリーダーとして活躍するだけでなく、指導的な立場で全国的に活動しています。

國際連携

世界離床ネットワークと連携して、アジア・太平洋地域の離床の啓発活動を行っています。また、ネットワークから発信される、離床に関する最新エビデンスを国内の皆さんに配信しています。